

授業科目 治療学演習 I

【担当教員名】 相馬 俊雄、亀尾 徹、佐藤 成登志、 椿 淳裕、松本 香好美、菅原 和広		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60 (内 15)
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 各種機器の取り扱いを理解し、その重要性和適応を習得する。その際に、起こりうるリスクを選択でき、それに対して対処できる知識・技能を修得することを目的とする					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 物理療法の実施とリスク管理、治療方針の修正を行うことができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1, 2	物理療法機器の実習（電気療法・光線療法）			1	演習、担当：菅原 和広
3, 4	物理療法機器の実習（温熱療法・寒冷療法）			1	演習、担当：菅原 和広
5, 6	物理療法機器の実習（超音波療法）			1	演習、担当：菅原 和広
7, 8	物理療法機器の実習（その他の治療機器・まとめ）			1	演習、担当：菅原 和広
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		理学療法テキスト	物理療法学・実	石川 朗、日高正巳、玉木 彰 他	中山書店 2014・2,400円+税 習
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 実技試験、出席日数などを通して総合的に判断する。			【履修上の留意点】 事前に行っている講義をもとに十分に予習を行ってこること。 実習のできる服装・靴を準備しておくこと。		